

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 26 年 8 月 4 日  
東京電力株式会社

## < 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (8/4 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h	29.3	4.1 kPa g	A系： 0.02 vol%
		給水系：約 2.5 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.02 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.5 m <sup>3</sup> /h	37.4	8.51 kPa g	A系： 0.02 Vol%
		給水系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.01 Vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.3 m <sup>3</sup> /h	35.4	0.24 kPa g	A系： 0.06 Vol%
		給水系：約 1.9 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.03 Vol%

## < 2. 使用済燃料プールの状況 > (8/4 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	30.0 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	28.3 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	27.9 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	26.8 °C

※各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

## < 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
3号機	3号機 タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物減容 処理建屋[高温焼却炉建屋])	6/16 14:42 ~ 移送実施中

## < 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (8/4 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転 状況	停止中*1	運転中*1	停止中	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中*2

\*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

\*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

## < 5. その他 >

・H26/1/29～ 2号機海水配管トレンチ凍結止水工事における凍結管を設置するための削孔について、凍結管を設置するための削孔を実施中。削孔作業と並行して、3/27より挿入作業ができるようになった孔から順次、凍結管およびパッカー挿入の作業を開始。

4/2～ 挿入が完了した凍結管について凍結を開始。

4/28～ 4/26に全17本の凍結管の挿入作業、そのうち13本のパッカー設置作業が終了したことから、凍結管全17本の凍結運転を開始。今後、凍結の壁を造成していく予定であり、凍結状況については、測温管にて確認していく。

7/28～ 2号機海水配管トレンチ立坑Aの止水壁造成に向けた追加対策として、滞留水の冷却を目的にトレンチ内へ氷・ドライアイスの投入をすることとしているが、7/24、25に実施した試験投入の結果を踏まえ、7/28より氷の本格投入を開始。ドライアイスについては、状況を見極めたうえで投入を判断する予定。

・H26/3/14 13:35～ 共用プール西側において、凍土遮水壁の実証試験(凍結試験)を開始。

- ・H26/6/2～ 凍土遮水壁工事を開始。
- ・H26/7/21 22:00～ 多核種除去設備B系について、6月にC系にて新たに確認されたすきま腐食の対策（腐食が確認された吸着塔のフランジ部へガasket型犠牲陽極を設置）を行うため 10 日間程度、処理運転を停止。  
また、H26/3 以降、炭酸塩処理クロスフローフィルタ（CFF）でガasketの放射線劣化などの原因から炭酸塩スラリーが流出（問題が確認された炭酸塩処理CFFについてはA～C系統において対策品に交換済み）。鉄共沈処理CFFについては、これまでに問題は確認されていないものの、予防保全の観点から、今回腐食対策を行うB系統について、改良型 CFF に交換を行う。
- 8/1 14:24 多核種除去設備B系について、作業が完了したことから処理運転を再開。処理運転再開後、運転状態に異常がないことを確認。
- 8/3 15:00 多核種除去設備A系において、鉄共沈処理を行っているCFFを改良型CFFへ交換するため、処理運転を停止。なお、処理運転停止後、漏えい等の異常がないことを確認。C系の鉄共沈処理CFFについても、今後、準備出来次第、同様に交換を行う予定。
- ・H26/8/1 14:58 5号機廃棄物地下貯蔵設備建屋に設置してある廃スラッジ貯蔵タンク室の漏えい検知器による警報が発生。同日 15:00 廃スラッジ貯蔵タンクレベルに変化が無いことを確認。その後、廃スラッジ貯蔵タンクのレベルに変化が見られないことおよび当該漏えい検知器から採取した水の分析結果の値が十分に低いこと、確認された水は排水を行い滴下がないことから結露と判断。当該漏えい検知器の警報については排水したことにより 15:45 解除。  
(水の分析結果)
  - ・セシウム 134:  $6 \times 10^{-2} \text{Bq/cm}^3$
  - ・セシウム 137:  $2 \times 10^{-1} \text{Bq/cm}^3$
  - ・ヨウ素 131: 検出限界値未満 (検出限界値:  $1.2 \times 10^{-2} \text{Bq/cm}^3$ )
  - ・コバルト 60:  $1.3 \times 10^{-1} \text{Bq/cm}^3$

#### 【地下水バイパス揚水井の状況】

- ・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。
- ・8/1 10:27～19:09 1～4号機原子炉建屋等への地下水流入抑制対策として設置した地下水バイパス設備の地下水バイパス揚水井から一時貯留タンクに汲み上げていた地下水について、一時貯留タンクグループ1から採取した水[採取日 7/21]の当社および第三者機関による詳細分析結果は同等の値であり、共に運用目標値を満足していることを確認したことから、海洋への排水を実施。排水終了後に漏えい等の異常がないことを確認。排水量は 2,140 トン。8/1 この際の南放水口付近の海水についてサンプリングを実施し、前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- ・1～4号機原子炉建屋等への地下水流入抑制対策として設置した地下水バイパス設備について、地下水バイパス一時貯留タンクグループ1の当社および第三者機関による分析結果[採取日 7/3]については同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることを確認。
- ・1～4号機原子炉建屋等への地下水流入抑制対策として設置した地下水バイパス設備について、地下水バイパス一時貯留タンクグループ3の当社および第三者機関による分析結果[採取日 7/27]については同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることを確認。

#### 【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

- < H4エリア周辺のサンプリング実績 >
  - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- < 福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績 >
  - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- < H6エリア周辺のサンプリング実績 >
  - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### 【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

- < 地下水観測孔サンプリング実績 >
  - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### 【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

- < 地下貯水槽サンプリング実績 >
  - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。